

透過性試験における評価方法

透湿度／燃料透過性試験 ⇒ カップ法による評価方法

【透湿度試験 (JIS Z0208)】

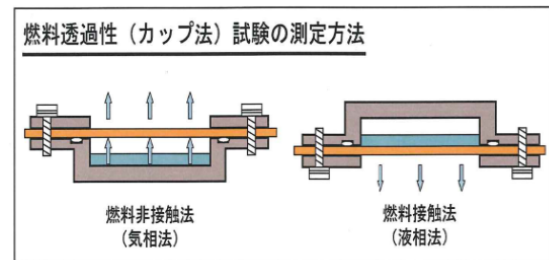
本試験は、「防湿包装材料の透過湿度試験方法」に基づき、プラスチックフィルムや加工紙など、防湿を目的とする包装材料の透湿度を評価するために、透湿カップを用いて試験を行います。

《温湿度条件》条件A: 25°C・90%RH / 条件B: 40°C・90%RH
評価方法は、透湿カップに吸湿剤を入れ、上にフィルムをセットし、封止した状態で、ある時間間隔毎にカップ質量測定を実施し、「重量増」=「水蒸気の透過量」として算出しております。(ただし、ブランク補正を実施)



【燃料透過性試験】

本試験は、カップ内に燃料(模擬燃料や有機溶剤等)を封入した状態で、40°C、もしくは、60°C等の試験条件下にカップを放置し、ある時間間隔毎にカップ質量測定を実施することで、「重量減」=「燃料の透過量」として、算出しております。(ただし、ブランク補正を実施)



気体透過度／燃料透過性試験 ⇒ ガスクロ法による評価方法

本試験は、混合ガスや混合燃料に対する各成分の透過量を算出するために、ガスクロマトグラフを用いて、各成分を分離して、定量分析を実施致します。

《分析例》

60°C・85%RH加湿下における水素ガス／FuelC+E10(気相法、または液相法等)

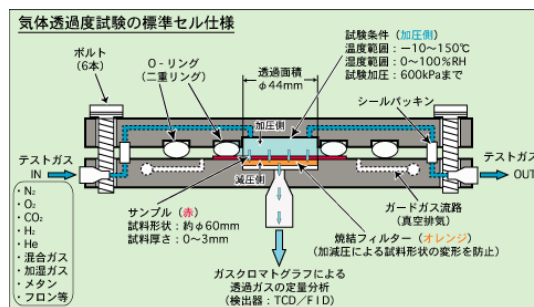


Fig. 燃料用セル様子

製品形状による評価 ⇒ 重量法による評価方法等もございます

《評価例》

チューブ、ボトル、タンク形状による熱エージング処理による重量測定・耐久性評価等